

学校プロフィール

本校は、創立109年を迎えた伝統ある工業高校です。機械科・建設科・電気科の3科があり、多くの卒業生が多面で活躍しています。

学校は東急東横線東白楽駅から徒歩約3分という立地条件に恵まれ、冷暖房完備の10階建ての校舎、食堂やグラウンド照明など、充実した施設設備を誇っています。このような恵まれた環境の中で、人間性豊かな工業人の育成を目指しています。休憩時間には、横浜みなとみらいの夜景が一望でき、心を和ませてくれます。

さあ、君たちも一緒に学びませんか！



本校から眺めたみなとみらい地区

学校行事

- 4月 始業式、入学式、新入生オリエンテーション、面談週間、部活の日、携帯電話マナー教室、各種健診
- 5月 遠足、身体計測、各種健診、中間試験、防災訓練、生徒総会
- 6月 面談週間、計算技術検定、進路ガイダンス、期末試験、各種健診
- 7月 交通安全講話、健康教育講座、進路ガイダンス、終業式
- 8月 始業式、地域貢献デー、食育の日
- 9月 通信前期試験、修学旅行、施設見学、薬物乱用防止教室
- 10月 学校へ行こう週間、中間試験、体育大会、文化祭
- 11月 計算技術検定、生徒会役員選挙、防災訓練、DIG研修、期末試験
- 12月 進路ガイダンス、終業式
- 1月 始業式、通信後期試験、卒業試験
- 2月 学年末試験
- 3月 卒業式、球技大会、修了式



文化祭の様子

※この行事予定は令和元年度のもので、修学旅行は3年次に計画しています。

進路状況

	R1	H30	H29	
卒業生	54	59	79	
学校紹介による就職	32	23	46	
進学	大学・短大	0	5	1
	職業技術校	1	3	2
	専門学校	6	3	9
	その他	15	25	21

学科の紹介

【機械科】

機械科では、ものづくりのための技術（手仕上げ・板金・旋盤・フライス盤・溶接・マシニングセンタなど）を中心に学習します。

また機械の設計方法や図面の見かた、書きかたなど、ものづくりのために必要な基礎知識やコンピュータ技術等も学びます。



溶接実習の様子

【建設科】

建設科では、建築関係の仕事で活躍する技術者に必要な基礎知識や技術を身につけることを目標とし、建築計画・構造施工などの科目を通じて、快適な建物を作るための必要な知識を学びます。

また、土地の形状や広さを調べる測量、材料の強度試験や騒音測定などの計測方法を学ぶ実習や、建築物の設計図の作図法を学ぶ建築製図など、体験的な学習を通して技術の習得を目指します。

※4修制で卒業後、2級建築士の受験資格が得られます。



測量実習の様子

【電気科】

電気科では、電気工学を系統的に学ぶことで、電気全般についての幅広い基礎知識と技術を身につけることができます。そのために、電気の基礎、発電の基礎、発電所から家庭まで電気を送る仕組み、コンピュータの基礎、電気技術の応用分野について学びます。



モータと発電機の実習

取得可能な資格

- 第二種電気工事士(電気科)
- 計算技術検定 ○情報技術検定 ○基礎製図検定
- 玉掛け技能講習 ○パソコン利用技術検定
- 小型車両系建設機械特別教育講習 ○クレーン特別教育講習
- 高所作業車特別教育講習 ○危険物取扱者



修業年限が選べます

定時制課程の修業年限は原則4年ですが、本校では、3年間でも卒業できる定通併修等の制度を取り入れています。入学後、希望に応じて修業年限を選ぶことができます。

4修制	4年間でじっくり学び卒業する、従来の定時制のスタイル
3修制	定通併修・実務代替・高等学校卒業程度認定試験合格科目による単位認定・学校外における学修の単位認定・学校間連携などで、必要な単位(14単位以上)を修得し、3年間で卒業するスタイル

【定通併修】

本校の定時制の課程に在籍しながら、提携している県立横浜修悠館高校通信制課程の一定の教科・科目を履修し、修得した単位を卒業単位として認定する制度をいいます。本校の教員が教科指導(スクーリング)・添削指導(レポート)・考査(試験)も併せて行い、単位を修得します。

【学校間連携】

本校に在籍しながら、神奈川総合高校の一定の教科・科目を履修し、修得した単位を卒業単位として認定します。

【学校外活動】

本校在学中に技能審査の対象となる資格・検定等を受験し、合格もしくは一定の成績を収めた場合、また、大学の公開講座等で本校が認めたものを受講し、一定の成果をあげた場合、学校設定科目として単位を認定します。

【実務代替】

実務の体験等(勤労)が工業科目と密接な関係を有する場合、職業における勤労体験を評価し、各教科・科目の履修の一部として単位を認定します。

【高等学校卒業程度認定試験合格科目による単位認定】

高等学校卒業程度認定試験に合格した場合、単位を認定します。

		1~4校時の授業		○または5校時の授業
1学年	4修制	工業科目(6)	普通科目(13)+LHR(1)	週2日
	3修制	工業科目(6)	普通科目(13)+LHR(1)	通信(4)
2学年	4修制	工業科目(8)	普通科目(11)+LHR(1)	週3日間
	3修制	工業科目(8)	普通科目(11)+LHR(1)	通信(6)
3学年	4修制	工業科目(7)	普通科目(12)+LHR(1)	週4日間
	3修制	工業科目(9)	普通科目(10)+LHR(1)	(2) (1) 通信(4)
4学年	4修制	工業科目(11)	選択(2) 普通科目(6)+LHR(1)	16:25~17:10 または 20:55~21:40
		17:45~20:50		

3修制・4修制のカリキュラム構成比較(例)

()内の数字は単位数を表します。※単位とは一週間でいう授業時間です。